



At the heart of the image

第20回  
**TopTeacher**  
賞

「躍動」神野 洋一 (大阪府立東百舌鳥高等学校 教諭)



ガンバレ写真部!  
個性と結束の「ゆるシャキ」写真部!!  
東京都立世田谷総合高等学校

視想講座 VOL.265  
写真で「言葉」を紡いでいく  
小川康博

PhotoPhoto OB/OG訪問  
栃木県立栃木工業高等学校OB 柳澤悠人さん  
「人」につながる写真の仕事がしたい!

めざせ傑作!!  
わくわくデジタル写真ゼミ 第1回  
はじめまして!!写真部員です!

情報ひろば  
**FRIEND'S EYE**

Nikon News

第61回ニッコールフォトコンテスト  
第4部「U-31」応募受付開始!!

# 先生だけの フォトフォトサロン



審査員 大西みつぐ  
1952年東京・深川生まれ。「遠い夏」で第18回木村伊兵衛写真賞受賞。ニッコールクラブ顧問、日本写真家協会会員、東京総合写真専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。

入念なプリントも重要な表現の一つ/大西みつぐ

本年2月、初の「トップアイ高校生写真サミット」が横浜で開催されたことはすでにみなさんご存知のことと思います。「ぜひまた開催して欲しい!」「我が校も頑張る!」というメッセージが今回たくさん添付されていました。生徒諸君の熱い思いと先生方の普段のご指導が、ここにきてライブ感あふれる「場」として 実を結んだことをうれしく思います。私からも「写真サミット」の継続をお願いしたいところです。

さて、今回の総評ですが、全体としてプリントの質がいまひとつだったように思えます。記念写真らしいものも含め、気軽にプリントをしていただくのはよいのですが、もう少し「色合い」や「コントラスト」にこだわっていただきたいものが多々ありました。

モノクロ暗室の時代から続いている悪しき習慣は、結果オーライという風潮です。もっとトーンにこだわっていただきたいですし、銀塩であろうと、デジタルであろうと、もう一枚プリントしてみるという努力が大事です。用紙や印画紙を一枚たりとも粗末にできないのは分かりますが、表現するために「惜しまない」でいただきたいと思います。

## TopTeacher賞

表紙に大きく掲載!!



「躍動」  
神野 洋一 (55歳)

大阪府立東百舌鳥高等学校  
●デジタル一眼レフカメラ ●24-105mm  
●Aオート (f/5.6) ●ISO100

ダンス部の地元フェスティバルでのワンシーン。おそろいの衣装も決まっていますが、ポーズも表情も満点の出来。盆踊りの櫓といい感じにコラボレーションしています。中心から放射状に、その元気滲刺さが広がっていくようなイメージです。青空だからなおさらです。いつもは邪魔な(下部の)影すら、ここでは造形的な存在として効果を発揮しています。残念なところは、原画が2Lサイズということ。このくらいの迫力あるスナップショットはぜひとも大きくプリントしていただきたい。そのことでもっと迫力が生まれます。ダンス部の彼女たちに負けないで自信を持っていただきたい!

受賞の  
コトバを  
どうぞ!

創部5年目のダンス部、2013年には「日本高等学校ダンス選手権」に初出場しました。写真は、地元堺市の「中区区民フェスタ」です。写真撮影をたのまれて会場に向かいました。夏の日差しの中、23名の躍動感あふれる演技と楽しそうな表情、テントの影に気をつけながら撮影しました。初めての応募でしたが、選んでいただきありがとうございました。



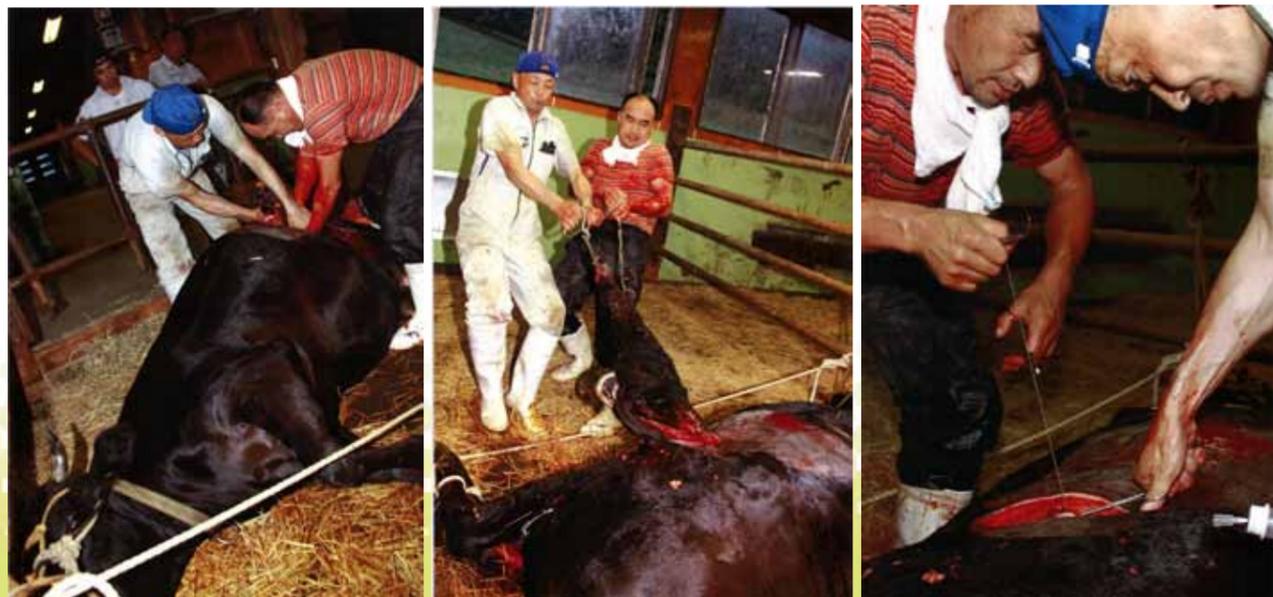
## 入選

### 「助けたい 守りたい命」

村上 利行 (41歳)

岩手県立遠野緑峰高等学校  
●デジタル一眼レフカメラ  
●18-200mm  
●Pオート (3点とも)  
●ISO400、400、320

「写真」には何が出来るのかと問われれば、間違いなく「記録すること」と答えるでしょう。それはただそこにあるモノや風景を漫然ととらえるという「記録」ではなく、それが意味する、あるいはそこから思索をめぐらすことの「世界」を記録することができるという方が正しいかもしれません。3枚の組写真を作者のキャプションに合わせて解説することも可能ですが、ぜひそれはタイトルとともに「読み取って」いただきたいと思います。緊迫した時間と獣医師や教師の、そして撮影者の祈りが、画面の傾きなどもとせず強く伝わってきます。私たちは「命」の尊さをいつもまっすぐに見据えていかねばなりません。



## 佳作

### 「惜涙」吉田 允彦 (48歳)

大阪府立生野高等学校  
●デジタル一眼レフカメラ ●70-200mm  
●Aオート (f/3.5) ●ISO100

説明を聞くまでもなく卒業式のワンシーン。あふれる思いは、とめどなく涙に姿を変え頬を伝い赤いリボンを濡らしています。滴り落ちる涙そのものをとらえた作品はめずらしいと思います。そして白い花や制服のボタンがとても印象的です。的確なフレーミングですが、先生はどのようにしてこうした瞬間を撮られたのか。そのことのみが頭から離れません。記録班でしたら分かるのですが、とっさのズームングだとしたらうまいですね。ちょうどいい距離だったのでしょうか。撮影準備が行き届いていて感心します。



### 「いつまでも美しく…」

中西 琢也 (52歳)

熊本県・八代白百合学園高等学校  
●D90 ●18-105mm  
●Aオート (f/5.6) ●ISO800

笑顔ってやっぱりいいですね。こうした自然な笑顔はこちらまでうれしくなれます。これは写真を撮る以前にすでにお店の女性やおばあちゃんとの気さくな会話があったことを物語っています。そこに町があり、人がいて、私たちの社会があるということなのでしょう。それは「写真の原点」とも思えます。「うまく撮ってやろう」というよりも、「正確に撮ろう」がいいでしょう。この場合は室内ですから、このぐらい自然なホワイトバランスに調整されたことが、穏やかな雰囲気さをさらに高めたと思えます。

### 「祭の日」豊嶋 弘文 (51歳)

香川県立坂出高等学校  
●デジタル一眼レフカメラ ●18-135mm  
●Aオート (f/5.6) ●ISO100

これから祭りの会場に向かうのでしょうか。のどかな情景です。そして晴れの日らしい華やかさが出ています。向こうから鞆をぶら下げた「寅さん」とすれ違うような期待感があります。赤色と青色が鮮烈に写真を見る人の目を刺激するとともに二人の子供の会話までイメージできてしまいます。祭りのクライマックスをきれいに絵にするよりも、こんなひとときのほうが味わい深い「郷土色」を感じさせます。望遠域での適度な圧縮感もあり、里山の雰囲気も少しうかがえます。

「もう一息で入賞」は  
次のページに掲載!

アドバイス



●「明日への光」齊内 敦子  
滋賀県立膳所高等学校

黒い紙を切り抜き、星型に穴を開け、多重露光で撮影されています。大変美しい写真ですし、工夫された経緯は素敵です。ほんとうに星が降ってくるようなイメージも感じます。しかし、クリスマスツリーらしきものがえませんが、もう少し実景も描いていただくとよかったと思います。イラストレーションとして強調され過ぎた感があります。

もう一息で入賞 次回作に期待します!



- 1「横顔」高橋 朗 埼玉栄高等学校
- 2「荒野」山口 晴久 大阪府立成城高等学校
- 3「大丈夫?」青木 聡 静岡県・静清高等学校
- 4「熱いステージ」田村 繁美 広島県立庄原格致高等学校
- 5「神秘的な光へ」原田 清美 東京都立向丘高等学校
- 6「喧嘩と倦怠」と遠藤 覚 静岡県立伊東高等学校
- 7「地球のフタ」藤井 孝美 山口県立下松高等学校

今年も待ってるよ、自信作!!

# フォトフォトサロン 作品大募集!

ますます盛り上がってる中学生、高校生のための写真コンテスト「フォトフォトサロン」。入賞作品はトップアイ誌上で紹介するほか、デジタルカメラなどのプレゼントも! 写真を始めたばかりのキミも、既にじゃんじゃん撮りまくってるキミも、「これっ!」と思う作品をぜひ出品してね!

第1回 締切!!

2013年度 フォトフォトサロンの 応募締切は

5/10 9/10 11/10 1/10

今すぐ、カレンダーに印をつけよう!

入賞者に豪華プレゼント!!

- TopEye賞**  
賞状&ニコンデジタル一眼レフカメラ
- 準TopEye賞**  
賞状&ニコンデジタルコンパクトカメラ
- 入選**  
賞状&ニコンオリジナルバッグ
- 佳作**  
賞状&ニコンオリジナルポーチ
- エプソン賞**  
エプソンプリンター  
毎回入賞者のうち1名の所属写真部にプレゼント!

キミの作品が「TopEye」表紙を飾る!

毎号のTopEye賞受賞作品は、表紙に大きく掲載。キミの作品を全国の中高生にアピールだ!!

WEBにも掲載するよ!

入賞作品は、ニコイメージングのウェブサイトにも掲載。親戚や友達、そして世界の人々にも見てもらえるよ!

ニコイメージング「TopEye」サイト  
<http://www.nikon-image.com/activity/topeye/>

東京、大阪で入賞作品展開催!

毎年春休みに、年度の「入賞作品展」を開催。作品はプロラボで再プリント、額装して展示。

ニコンの伝統あるフォトコンにノミネート!

TopEye賞作品は、次年度の「ニコールフォトコンテストU-31部門」にノミネート。さらに大きな賞をもらえるチャンス!

宛先はココ

〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富1141-10

「ニコンカレッジ・TopEyeフォトフォトサロン」係

※TopEye編集部宛とは異なります。ご注意ください。

応募ルール

- ★用紙・サイズ確認をしっかりと!
- ★組写真は4枚まで。並べ方も注意!
- ★組写真は並び順を明記!
- ★応募は未発表作品のみ!

- ★二重応募はダメ!
- ★肖像権・著作権に注意!
- ★応募用紙は最新版を!
- ★応募用紙の記入漏れに注意!
- ★早めに送ろう!

必ず守ってね!

今年度の日本一は…キミの写真部!?

# 2013年度TopEye フォトフォトサロン 年度賞

試合開始!

個人技の写真が「チームプレイ」になる、それが学校対抗の「年度賞」! フォトフォトサロンでの入賞実績や出品頻度をポイント換算し、1年間の上位3校を決定するよ。

第1回締切は5月10日。新入部員も先輩も、そして顧問の先生も心をつなげて、スタートダッシュだ!!

- 2013年度の「年度賞」ポイント対象
- 第167回 (6/15発行)
  - 第168回 (10/15発行)
  - 第169回 (12/15発行)
  - 第170回 (2/15発行)

- 各回の入賞作などに、それぞれ配点。
- TopEye賞 ……100pt
  - 準TopEye賞 ……70pt
  - 入選 ……50pt
  - 佳作 ……30pt
  - もう一息DE入賞 10pt
  - 皆勤校ポイント ……20pt
- (上記4回のフォトフォトサロン全参加の学校に配点)

4回分のポイントを学校ごとに集計して、「年度賞」決定!

- 最優秀賞**  
賞状、楯、ニコンデジタル一眼レフカメラ、エプソンプリンター  
合計ポイント最上位の学校
- 優秀賞**  
賞状、楯、ニコンデジタル一眼レフカメラ、エプソンプリンター  
合計ポイント第2位の学校
- 敢闘賞**  
賞状、楯、ニコンデジタル一眼レフカメラ、エプソンプリンター  
合計ポイント第3位の学校

※ポイントが同点となった場合、「もうひとキ DE 入賞」「皆勤校ポイント」を除いた「入賞ポイント」によって順位を決定させていただきます。

さらに! 「TopEye高校生写真サミット」参加のチャンス!!

今年2月、15校の写真部を招いて楽しんだ「TopEye 高校生写真サミット」。本年度も、フォトフォトサロンで頑張ってくれた写真部をご招待する予定です!!

(2013年2月の「サミット」より)

- 有名写真家と一緒に撮影会!
- 写真家によるセミナー開催!
- その日の作品でフォトコンテスト!
- 新しい写真仲間ができる懇親会!
- フォトコン入賞でニコンのカメラを勝ち取れ!

「サミット」ご招待予定の写真部は??

- 12/15発行号時点の年度賞ポイント上位10校
- さらに年度賞ポイントと地域性を考慮して5校

上記の部員さん3名、顧問の先生1名をご招待する予定です。

来年2月、横浜で会おう!!

今年も評判!

2012年度 TopEye フォトフォトサロン 入賞作品展

3/26~4/1 ニコンサロンbis新宿

昨年度のトップアイをにぎわせた傑作力作が、プロラボによる再プリントで復活! 写真ファンやプロ写真家が集まる東京・新宿のニコンサロンでパッチリアピールしました!



ゴールデンウィークには大阪へ!

5/2 (木) ~ 5/8 (水)  
ニコンサロンbis大阪  
10:30~18:30  
(最終日は15:00まで)  
ぜひ見に来てね!!!

# ガンバリ写真部!!

今回の舞台は、東京のおしゃれなベッドタウン、二子玉川にほど近い都立世田谷総合高等学校。昨年の夏頃に「東京の写真部ではたぶん最大規模!」というお手紙をいただき、そりゃ是非行かねば!と思いつつ、ナンダカンダで取材に行けたのは卒業式の翌日(^^)。それでも参加人数は卒業生を含めて30人近く。にぎやかな取材になりました!

## 都立世田谷総合高等学校



### 個性と結束の「ゆるシャキ」写真部!!

後列左から:顧問の鈴木先生、星くん、花沢くん、竹原くん、大倉くん、高橋くん、大江くん、卒業生の安藤さん&大草さん。  
中列左から:工藤さん、長林さん、加納さん、西田さん、小林麗さん、出浦さん、森下さん、卒業生の平塚さん、石井先生。  
前列左から:松本さん、植村さん、小林鈴奈さん、奥川さん、古市さん、早川さん、吉谷さん、曾我さん、清水さん。

#### 最近の実績

- ◎2012年、2013年高総文祭出品
- ◎2012年 都高文連年間優秀賞
- ◎2011年 都高文連年間最優秀賞、優秀賞
- ◎2010年、2011年 高文連関東大会優秀賞
- ◎2010年「高校生モデル撮影会」(全日本写真連盟・朝日新聞社主催)銀賞・銅賞
- その他、雑誌「CAPA」のフォトコンなどで入賞多数!

#### 出没エリア

- ・撮影会:多摩川の河原、二子玉川周辺、横浜、江ノ島&鎌倉などなど
- ・合宿(4泊5日!):長野県など。
- ・都心の新宿・渋谷で撮影活動を行う部員さんも。

#### 撮影会 @横浜!!



#### 撮影会 @長野!!



#### 強豪ならではの悩みあり!?

世田谷総合高等学校は、創立からまる5年のピチピチ高校。同時に写真部も誕生したわけですが、のっけからいろんな大会やコンテストで好成绩連発!入部希望も殺到し、一時期は60名を突破!すげー。でも反面、校内的には「写真ってけっこう、全国大会も楽勝なんじゃね?」なんて思われがち...という贅沢な悩みも!

#### 卒業生も遊びに来てくれました!



前副部長の平塚さんは日本文学を専攻!

副部長の森下さん。夢はエステティシャン!

部長の出浦さん。得意分野は、子供とおじいちゃん!



石井先生 大学でスポーツ写真にハマった経歴あり! すごい雑学家。話し始めると止まらない!

鈴木先生 写真だけでなく、すごい雑学家。話し始めると止まらない!

三上さん 「日芸写真学科に行きます!」

北村さん 「イベント企画の勉強します!」

大草さん 「環境分野の仕事をしたい!」



**部員:** 35名(2年22名、3年13名)  
**活動:** 週に2日集まってミーティングやデータ整理。月イチのペースで週末に撮影会!部員の自主撮影会も多し、体育祭、文化祭、合唱祭などの記録担当も。  
**機材:** デジタル一眼レフカメラ3台、フィルム一眼レフカメラ5台。部員もデジタル一眼所有者多し。暗室はあるけど最近はややお蔵入り状態? プリンターは部の備品が5台+大型サイズ出力用に他部署から1台レンタル中。  
**部費:** 学校、生徒会から年間合計10万程度。部員からの徴収はナシだけど、入部時にコンテスト出品用のプリント用紙を各自購入!

魅力的な角度を追及。写真学科目指します!



都高文連 年間優秀賞! 高総文祭へ出品します!

学校行事の撮影で友達増やしてます!

時間と空間を切り取る感じが好き。

ホームビデオで写真にハマりました。

小林さん撮影

奥川さん撮影

タテ・ヨコ・ナナメ、全方向で伸びがいい!

ゲーム好きに文学少女、もと軽音部に自転車マニアと個性それぞれ。でも、仲いいんですよコレが。先輩の作品やキャラに憧れて入部し、同学年と気分よく盛り上がり、後輩をさりげにフォロー。先生とも気軽にダベり、相談できる間柄。ちなみに男女仲も上々だとか。撮影体験もホンワカゆるい雰囲気だったけど、みんなの統一見解は「やる時やる部です!」そうでなくちゃね。今後の活躍にも大期待です!!

西田さん撮影

ポチたま撮りがお気に入り =φωφ=

清水さん撮影

写真もいいけど、絵や映画も興味があります。

夢はブライダルプランナー♡

人物写真は関係づくりが大事。

一眼の「ボケ味」いいわ〜。

学校から徒歩5分の「岡本公園民家園」で撮影体験!

愛機に乗って(↑自転車)どこでも行かせ!

メカを撮りたい!

空の撮影とゲームに凝ってます。

人物写真は関係づくりが大事。

今このテーマはお菓子撮り♡

部活以外はひたすら読書!

一眼の「ボケ味」いいわ〜。

花沢くん撮影

友達どうし撮り合うのが趣味!

機能を試しまくって技を体得!

花のアップが好き。マクロレンズ欲しい!

松本さん撮影

服装や小物で感情表現を追及!

ライブハウスでバンド撮ってます。

ネットで作品発表中。

早川さん撮影

植村さん撮影

大倉くん撮影

古市さん撮影

### 年々活発化する写真部の活動

—— 東京都高等学校写真連盟 事務局長 宮原俊夫

東京都では、高文連主催の2回の写真展と全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演の記録写真を毎年担当しています。7月の夏季写真展では一人1作品出品で487作品を展示しました。12月の冬季写真展では600作品から選抜した117作品を展示しました。毎年出品数は増加し、特に男子部員の割合が増加。フィルム作品からデジタル作品への移行も進んでいます。

### 「ガンバリ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに登場したい!という写真部(または写真部に準ずる部)は、「ガンバリ写真部取材希望」とお書きの上、

- 部のPRポイント
- 学校・クラブ名
- 学校住所・電話番号
- 代表者氏名

を併記して、TopEye編集部までご連絡ください。(連絡先は裏表紙に記載)

めざせ傑作!

# わくわく デジタル写真ゼミ

新連載  
スタート

## はじめまして!!

### 第1回 写真部員です!

春だ!入学、進級、そして写真部入部おめでとう!!今回から始まるこのコーナーでは、入部ホヤホヤの二人の写真部員が、「いい写真ってナンダ!?!」をウンウン考えながら、撮って工夫してまた撮って、腕をズンズン磨いていくよ。じゃあ最初はみんな自己紹介、いってみよう!



**こんにちは!**  
**写真部員のレン子ですっ**

高校に入る前から写真には興味あって、ケータイで写メとかしてたんですけど。新学期に写真部に入ったってことで、憧れの「Nikon 1」を買ってもらったんだ!!夢はN川花さんみたいな写真を撮って、トップアイ賞ゲットすることですっ。



**こんな写真撮ってます!**

キレイなもの、カワイイもの大好き!最近友達にも「撮って!」って頼まれますっ(汗)。

**あ、どうも。**  
**シャツ太ですけど**

えーと、父が一眼レフカメラ持ってて、たまに使わせてもらううちにハマったんですね。F値とかISOとかホワイトバランスとか面白いけど、今イチうまくいかないっていうか。僕も高校に入って自分用の手に入れたんで、やっぱ賞とか野望かな。



こういうの撮ってますけど。今撮りたいのは景色とか、建物かな。実験的な写真も撮りたい、みたいな。

**こんにちは。**  
**顧問兼講師の斉藤です**

プロの写真家で、写真教室の先生もしています。時々トップアイを飛び出して、全国の学校で写真ゼミもやるよ。みんなの学校へ行った時には、ヨロシクね!



過去の作品は、こういうの。写真ゼミで教えながら、時々南の島へ行って撮影してます(仕事でだよ!)。



カシガン撮るよっ

待て設定が...

というわけで、楽しくやっぺいこう!次回から、2人の作品を見ながら**撮り方のちょっとしたコツ**を勉強するよ!!

講師/斉藤勝則  
イラスト/えのきのこ





「Winter Journey」より



「Slowly Down the River 往にし方の三峽をめぐる旅」より

旅が好きで、大学時代にアジア諸国をまわりましたが、旅先で写真を撮るのは好きではありませんでした。現地の人に無遠慮にカメラを向ける旅行者に抵抗を感じたせいだと思います。「写真=アート」という感覚もなかったですね。絵画や美術は昔から好きだったんですが。

卒業後、アルバイトでお金を貯めては旅行していた頃、雑誌で偶然セバスチャン・サルガドの特集を見ました。中南米が舞台のドキュメンタリー写真ですが、僕はむしろ絵画のような視覚的ショックを受けました。構図といい質感といい、「写真でこんな表現ができるのか!」と。その後サルガドが所属していた「マグナム・フォト」という写真家集団に関心を持ち、いろんな写真家の作品に魅了されていきました。

すると、やっぱり自分でも撮ってみたいくなり、その後のチベット、ラダック旅行にはカメラを持っていきました。絵は描けなけれど、シャッターなら押せるぞと(笑)。現地で知り合った写真家に自分の撮った写真を見せ、褒められてまたやる気になる。そうして

旅の写真を撮りため、31歳で初の個展。大きな賞もいただきました。

僕にとって写真は「言葉」ですね。独り言を呟くように撮影をする。それが集積されて、自分の中で一つの世界に紡がれていく。行き詰まりを感じたら、とりあえず写真展を開くなど、一度形にしてみる。すると、ストーリーに足りないピースがふと分かたりします。数年前の中国・三峽ダムの写真集は、そうやってできました。

一つのストーリーから別のテーマが派生することもあります。2005年に雑誌の仕事で三宅島を訪問し、その後全国の離島をテーマに撮影していますが、途中で何となく撮った数枚が「言葉」を語り始めた。そんな風にして、今は「離島」「冬の旅」「沖縄」の3シリーズを同時進行しています。

皆さん一人ひとりにも、自分だけの「言葉」の語り方があると思います。漫画や音楽かも知れないし、スポーツかも知れない。分かってくれる人は少なくとも、それは自分の育った過程の積み重ねです。ぜひ見つけて、大切にしてほしいと思います。

# 小川康博

## Profile

(おがわ・やすひろ) 1968年、神奈川県に生まれる。24歳の時セバスチャン・サルガドの写真に感銘を受け、写真を始める。1999年、初の個展「不確かな地図」を東京にて開催。翌年、同作品で第37回太陽賞を受賞。以降、日本やアジアを舞台として撮影活動を続けている。写真集に「Slowly Down the River 往にし方の三峽をめぐる旅」(2008年)。2009年、日本写真協会賞新人賞を受賞。2013年、写真展「Winter Journey」開催。秋にも写真展を開催予定。ホームページ: www.ogawayasuhiro.com



情報ひろば

# FRIEND'S EYE

読者の皆さんと編集部が一緒につくる、フレンズアイ。カメラ関係のお役立ち情報に、読者の主張、写真についての疑問質問、写真展告知など、なんでもアリ。皆さんの情報提供、待ってます!

元気な先輩に出会いたい!

## PhotoPhoto OB/OG訪問!

SENPAI-file.9



「人につながる写真の仕事がしたい!」

日本大学芸術学部写真学科 3年

柳澤悠人さん

第154回フォトサロンTopEye賞受賞  
栃木県立栃木工業高等学校OB

「何か打ち込めることを」と入部した写真部で、地元を写真で記録する「わが故郷とちぎ」の活動に熱中。その後、日藝写真学科で学び、そろそろ将来が視野に入ってきました!

「PhotoPhotoSalon」で栄冠を手にした先輩たちの、ホットな「今」をご紹介します。数年後のキミがここにいる!?

写真部時代の思い出を聞かせてください。

将来の展望を聞かせてください!

最初は、1年部員が3人だけ。その後1人入って1人やめ、また入ってやめて...という状況で、僕が3年間部長をやりました(笑)。とは言え、部員は少なくとも、一体感はずっとありました。学校にあった4×5カメラで写真の仕組みを学び、夏休みには8×10カメラを2週間くらいかけて部で自作。それを使って2年の時に「わが故郷とちぎ」※の撮影を始めました。今も後輩に引き継がれているのは嬉しいですね。2年生から出し始めたフォトサロンで、年度末にTopEye賞を取れたのは大きな節目でしたね。今までの活動が正しかったという確信と、その後の挑戦のベースができました。いろんなコンテストや高文連で他校の写真仲間とも知り合えたのも良かった。大学に続いている縁もあります。

※2012年6月号「ガンバレ写真部」に母校の活動が載ってます!

高校時代は漠然と「写真の仕事がしたい」と考えていましたが、最近そこに「人に関わる仕事」という思いが加わってきました。たとえばドキュメンタリー写真、報道、写真館など、やっぱり「相手がある」ことをやりたい。進路のイメージでもその前に、卒業制作のことも考えないといけないなあ。栃木の街に改めて取り組むのもいいかなと思っています。

では、後輩たちにメッセージを!

僕が写真を始めた理由は、コンテストという目標を持ったからだと思います。賞を逃した悔しさも、次の結果につなげることはできます。あと、ぜひ仲間と作品を見せ合ってあれこれ言い合ひましょう。自分では気づかない意見をもらえて、力になりますよ。

今、どんな学生生活を?

2年までは基礎の勉強です。レンズの構造やピントの仕組み、写真史や写真工学などなど。合間に写真は撮りますし、長期の休みには栃木へ帰って部に顔を出したり...、写真撮影のアルバイトもやっています。写真って、自分の技術を人に見せ、評価してもらえるのが嬉しい。ポートレートやスナップを撮ってあげて喜ばれるのもいいですね。



トップアイ賞作品も栃木の街でした!!

帰省中の撮影活動のひとつコマ。故郷を記録する活動はライフワークになるかも?

## Nikon News

カメラボディの価格はすべてオープンプライスです。

本能を解き放て。小型軽量システムの中に、高い基本性能と数々の先進機能を凝縮。



新発売  
D7100

DXフォーマット 有効画素数 2410万画素 ISO感度 100~6400 高速連続撮影 約6コマ/秒

- 有効画素数2410万画素
- 約1.3倍の焦点距離相当の撮影画角が得られる対DX1.3×クロップ機能
- 光学ローパスフィルターレス仕様
- RGBW配列の見やすい大型液晶モニター
- 視野率約100%の光学ファインダー
- マグネシウム合金採用の軽量かつ堅牢なボディ
- マルチエリアモード フルHD Dムービー

望遠から超望遠までをカバーする、VR付き5倍望遠ズームレンズ。

新発売  
AF-S NIKKOR 80-400mm f/4.5-5.6G ED VR  
希望小売価格: ¥325,500(税込)



手のひらサイズの一瞬レフクオリティ。

COOLPIX A 新発売



暗い場所でも速くもしっかりキャッチ。高画質&高倍率7倍おしゃれスリム。

新発売  
COOLPIX S3500



明るいレンズと大型高感度センサーが、暗所をどこまでも美しく描く。

新発売  
COOLPIX P330



第61回ニッコールフォトコンテスト  
第4部『U-31』応募受付開始!!

大きな舞台が、  
キミを待ってる!

「若者限定」の写真コンテストとして熱く注目されている  
ニッコールフォトコンテスト『U-31』部門。  
トップアイの読者や元読者もどんどん出品、結構入賞していますよ!  
今これを見ているキミ。  
フォトフォトサロンとともに、ぜひ応募を!  
(30歳以下の先生もご応募よろしく!!)

応募資格

30歳以下の方 (2013年3月末現在)

大賞賞金

30万円

応募締切

7月8日(月) 必着

大賞賞品



ニコンD600  
レンズキット

詳しくはニコンイメージングのWEBで!

ニッコールフォトコンテスト

検索

www.nikon-image.com/activity/nikkor/contest/nikkor/



今号同封のチラシに  
応募券がついてるよ!

2012年度フォトフォトサロン  
「TopEye賞」作品もノミネート!



第163回

トップアイ表紙を飾った傑作も  
コンテストに参加します!

「春まだ遠し」河村夏菜子さん



第164回

「ゼロ」大田綾花さん



第165回

「水の鎧」  
古川泰希さん



第166回

「世代交代」  
比嘉綴奈さん

皆さんの  
投稿歓迎!!

投稿の際には忘れずに書いてね!

- ①学校名・クラブ名 ②あなたの住所 ③氏名
- ④電話番号 ⑤使用可能なメールアドレス

宛 〒104-0045 東京都中央区築地 4-3-11 アクアビル 203  
先 (株)アドバタイズ TopEye 編集部宛  
FAX (03)5148-0566 E-MAIL topeye@nikonooa.net

掲載者には、  
記念品を  
プレゼント!

Nikon Salon Information

http://www.nikon-image.com/activity/salon/

赤い字は、  
トップアイ仲間の  
作品が見られる  
写真展だよ!

銀座ニコンサロン (03)5537-1469  
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 前迫美紀子「うたかたの日々-Transient days-」 4/10~4/23
- 第32回土門拳賞受賞作品展 亀山 亮「AFRIKA WAR JOURNAL」 4/24~5/7
- 小川和宣「ネバリ」 5/8~5/21
- 東京写真月間2013「アジアの写真家たち 記念特別写真展-輝けアジア、羽ばたけアジア」 5/22~6/4
- 小島康敬「Coming back」 6/5~6/18

ニコンサロンbis新宿 (03)3344-0565  
10:30~18:30(最終日は15:00)

- ニッコールクラブ池袋支部「憧憬」 4/9~4/15
- 東日本読売写真クラブ 「2013東日本読売写真クラブ連合展」 4/16~4/22
- Juna21 和田悟志「すべてそこにある」 4/23~4/29
- 吉田 功「廃校の行方」 4/30~5/6
- 齋藤正明「天に近づくところ」 5/7~5/13
- 山本孝之「ふるさと・人々」 5/14~5/20
- ニッコールクラブ銀座支部「築地場外市場」 5/21~5/27
- Juna21 雷永 晋「遠い記憶」 5/28~6/3
- 読売新聞中部支社「写真グループ展 神宮の四季」 6/4~6/10
- 伊藤邦美「かんのんさまの里」 6/11~6/17

ニコンサロンbis大阪 (06)6348-9698  
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 野口文男・志岐利恵子「野辺の送り」 4/11~4/17
- Juna21 古林洋平「maburi~奄美の光~」 4/18~4/24
- Juna21 佐藤静香「たくと」 4/25~5/1
- 2012年度TopEyeフォトフォトサロン入賞作品展 5/2~5/8
- 山初律子「はじまりの島」 5/9~5/15
- 読売新聞中部支社「神宮の四季」 5/16~5/22
- 西田勝彦「近在の記憶」 5/23~5/29
- 大阪写真月間2013「写真家150人の一坪展」 5/30~6/5
- 大阪写真月間2013「大阪写真月間 ハイスクール フォトアワード」 6/6~6/12
- Juna21 高島空太「ざわつき」 6/13~6/28

新宿ニコンサロン (03)3344-0565  
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 平林達也「霊気満山-高尾山」 4/9~4/22
- Juna21 吉原かおり「サヨナラと香辛料」 4/23~4/29
- 内山英明「アトムワールド ATOM WORLD」 4/30~5/13
- 第19回酒田市土門拳文化賞受賞作品展 小林勝利「仁淀川遷行」 5/14~5/27
- Juna21 小須田望「closed square」 5/28~6/3
- 野村次郎「峠」 6/4~6/17

大阪ニコンサロン (06)6348-9698  
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 時津 剛「DAYS FUKUSHIMA」 4/11~4/17
- Juna21 穂積大和「Designs」 4/18~4/24
- Juna21 千村明路「砂界~SHAKAI~」 4/25~5/1
- ニコンサロン企画展 Remembrance 3.11 北島敬三「PLACES」 5/2~5/15
- 第32回土門拳賞受賞作品展 亀山 亮「AFRIKA WAR JOURNAL」 5/16~5/29
- 大阪写真月間2013「写真家150人の一坪展」 5/30~6/5
- 山口総一郎「FRONT WINDOW」 6/6~6/12
- Juna21 藤原香織「ホログラム」 6/13~6/19

ニコンプラザ仙台  
フォトギャラリー (03)3769-7951 日・祝休館  
9:30~18:00(最終日は15:00)

- 復興支援メディア隊(特定非営利活動法人映像情報士協会) 「未来への教科書~For Our Children~写真展」 4/3~4/16
- ニッコールクラブ「第60回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展」 4/17~4/30
- 日本赤十字社宮城県支部 「たすけあった日々~東日本震災と赤十字~」 5/1~5/14
- 特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン「アース ウォッチで始めよう!誰でもできるサイエンスボランティア」 5/15~5/28
- 日本財団「第2回共(シェア)コンクール入賞作品展(版)」 5/29~6/11
- 松本佳子「晴れときどき旅」 6/12~6/25

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

見てね!  
ネットでもTopEye

TopEye誌面のダウンロードや、フォトフォトサロン受賞作品の鑑賞ができます。

URL:www.nikon-image.com から「写真文化活動」>「写真部応援マガジン TopEye」へどうぞ!

「Top Eye」へのお問い合わせはこちらまで。  
ニコトップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikonooa.net  
TEL:03-3769-7960